



米国国務省日本語研修所から研修生が来訪

米国外交官と学生が「日米関係を語り合う」交流会を開催

1 11月6日（水）に広島キャンパスで

県立広島大学（広島市南区宇品東 1-1-71、中村健一理事長兼学長）では、米国国務省日本語研修所（神奈川県横浜市、カーメラ・カンロイ所長）で日本語を勉強中の米国外交官 5 名を招いた交流会を 11 月 6 日に開催します。研修生たちは今後、日本国内の大使館や総領事館などで勤務することが決まっている 30 歳代から 50 歳代の外交官です。

交流会はグループディスカッションで、研修生 1 人と学生 4 人を 1 つのグループとして、少人数で進めます。開催当日の日本は、「即位礼正殿の儀」が 10 月 22 日に終了し、祝賀パレード「祝賀御列の儀」を 11 月 10 日に控えている時期です。テーマは日米関係を中心とした国際問題、米国国務省の仕事、広島の紹介、日本の社会や若者の生活など多岐に渡る予定です。学生たちにとっては、米国の外交官と生で話ができる貴重な機会となり、研修生たちにとっては、日本の若い世代から日本の文化を学べる貴重な機会となります。東京や沖縄など、日本での勤務経験が豊富なカンロイ所長への取材もお受けします。ぜひお越しください。

2 取材概要

日時：11月6日（水）午後2時～午後3時45分

場所：県立広島大学 広島キャンパス教育研究棟5階 1524大学院生研究室

参加：米国国務省日本語研修所の研修生5名、カンロイ所長、県立広島大学の学生16名ほか

【米国国務省日本語研修所】1964年に設立され、日本に赴任する米国外交官たちのための集中日本語研修を行っています。研修では会話、聴解、読解など外交官として必要とされる、中～上級の専門的な日本語能力を習得させます。実際には平日5～6時間、1～2名の少人数クラスで行われ、一般的な話題から政治経済など専門分野まで流ちょうに会話できる力を身に着けるとともに、1500～2000字の漢字習得が義務付けられています。期間は8月～翌年6月の10か月間です。

【カーメラ・カンロイ所長（写真）】米国国務省に勤務して23年、日本では在東京の米国大使館などで計10年の勤務経験があります。駐沖縄総領事館の政治軍事首席補佐官、在カブールの米国大使館でアフガニスタン、パキスタン、イランに対する地域難民コーディネーター、在オスロ米国大使館の政治経済部長、国務省本省での勤務などを経て2018年9月から現職。ワシントン大学法科大学院卒、ワシントン州出身。



*取材ご希望の際はお問い合わせください